

(一社) 日本道路建設業協会
沖縄支部

支部だより

平成30年
11月20日(火)
第87号

会員
だより

ストレスの無い癒やしの道!

古くからある沖縄の路(みち)「備瀬のフクギ並木」や「金城町の石畳道」等には趣があり、これからも保存してほしい。最近の沖縄の道路では「ニライカナイ橋」や「浦添北道路」等のように海に面した道路が美しく、運転しても楽しい。私は毎日、出勤・帰路に「浦添北道路」を利用している。信号がなく流れがスムーズで、片側1車線なので追い越す必要もなければ追い越される心配もなく、皆が車間を十分に取って「あおり運転」する人もいないので、ストレスが全くない。当社も「浦添北道路」の施工に関わり、走行中同乗者に「この舗装は小波津組が施工したよ」と自慢している。これから創る新設道路やバイパス等もこのようなストレスのない道路になってもらいたい。

【取締役土木部長：稲 博和】



備瀬のフクギ並木

株式会社 小波津組
代表取締役社長 小波津 英正



金城町の石畳道



ニライカナイ橋



浦添北道路

会員
だより

芝生と雑草の戦い!

道建協会員の皆様、日頃から大変お世話になっております。今回、弊社が糸満市西崎で施工した「パークゴルフ場整備工事」について紹介します。ゴルフ場といえば、綺麗に管理された芝生のイメージを思い浮かべる方も少なくないのでは? ひと口に芝生といっても種類が多く、日本芝・西洋芝の中でも葉の粗い、細かい、硬い、柔らかい、暑さに強いもの、乾燥に強いもの、踏みつけに強い耐性があるもの等、様々な品種があり、ゴルフ場のグリーンやフェアウェイなど場所によって使い分けられています。本工事では、既存の公園を利用しパークゴルフ場に施工するものでした。造成から始まり、芝生に適した土壌改良を行って芝生植えつけを完了し、工事も竣工への見通しがついて、ホッとしていたのもつかの間、しばらくすると待っていたのは雑草との戦いでした。雑草の種は元々地中に残っている物や風・鳥のフンなどで運ばれてきたり、人や動物の体にくっついてきたりなど、完全に防ぐのは困難です。

株式会社 呉屋組
代表取締役社長 呉屋 明

しかも成長が早く繁殖力も非常に強いため、放っておくとたくさんの種が芽吹きます。芽吹いた雑草を抜き取り、また、抜き取っても地中に残った茎から再生するという厄介な雑草もあります。そのような雑草には芝生に無害な除草剤の散布を行いました。同時に雑草が入り込みにくい密度の高い芝生を育てる為、水・肥料・目土の散布、刈込を行なった結果、竣工を迎える頃には、青々としたコースに仕上がりました。今でも、公園管理者の芝生の手入れ及び除草作業により綺麗なコースとなっています。この工事を経験した事で、道端で雑草を見かけると「あ〜、アレは厄介な雑草だな」と少し見る目が変わりました。【土木部：呉屋 克哉】



芝ポット苗を50cmピッチで植え付け



芝の育成状況(竣工時)

活動報告・トピックス



①舗装施工管理技術者 技術講習

最新の舗装技術の習得を目指して!

(一社)日本道路建設業協会沖縄支部は、10月2日(火)に浦添市産業振興センター結の街で30年度舗装施工管理技術者技術講習を行いました。技術講習は、主に登録更新の方、また登録が失効してしまった方や、自己研鑽として舗装技術に興味を持たれる方を対象に「最近の舗装技術の習得と技術の向上」を目的に開催しており沖縄県内での開催は、今回が初めてです。

講習に先立ち与那嶺支部長は、「舗装施工管理技術者資格試験制度は、舗装工事に携わる技術者の評価を的確に行うことによって、舗装工事の品質の確保を図るために創設された資格制度であり、舗装工事の施工に従事する技術者は、一般的な土木技術に加え舗装技術特有の専門的な知識、及び豊富な施工経験が要求される。舗装施工管理技術者は、技術の進歩に遅れを取ることのないよう最新技術を習得していかなければならない。」と挨拶された。

講習では、沖縄総合事務局の高良哲治技術企画官が、第1章「舗装事業をめぐる社会・経済情勢と各種制度」をテーマに①建設業の現状と諸課題②インフラ政策等の動向③公共工事の品質確保と民間活力の活用等について講義された。また、舗装施工管理技術者資格について、「舗装工事の施工は、豊富な施工経験や高い技術が求められ、管理技術者の評価が重要なため沖縄局では、同資格を総合評価の評価加点項目として活用することを検討している」と総合評価で舗装施工管理技術者資格が加点対象となる可能性を示唆した。

次に道建協技術委員会の堂尻伸二委員が第2章「舗装工事の安全対策」をテーマに①建設業及び舗装工事の労働災害発生状況と安全対策②最近の安全対策に関する情報等として、労働災害の発生状況や事故防止対策等及び建設業労働安全衛生マネジメント等について講義した。また、3章「建設副産物対策」をテーマに建設廃棄物の実態、建設廃棄物の再資源化等について説明するとともに、建設業に関する主な関連法令等について紹介された。続いて、道建協技術委員会の吉武美智男委員が、第4章「最近の舗装技術の動向(I)(II)」



開催の挨拶を行う与那嶺支部長

今月の予定

- ①第3回安全委員会 支部会議室
11月2日(金) 11:00~
- ②ICT技術講習会
11月15日(木) 10:00~16:30
浦添市産業振興センター結の街 3F 中研修室
- ③第147回道路美化・清掃活動
11月20日(火) 10:00~ 後半グループ
- ④第37回道路技術講習会
11月22日(木) 13:25~17:00
浦添市産業振興センター結の街 3F 中研修室

をテーマに①社会が路面に求める機能と舗装に求められる性能②技術基準類等の概要③舗装の設計④舗装のマネジメントとして、舗装に関する技術基準類の概要、舗装の計画・設計に当たって考慮すべき事項、舗装の維持・修繕等について説明された。また、⑤舗装技術の現状として、環境に配慮した各種舗装技術、アスファルト及びコンクリート舗装技術及び再生舗装技術等に関し、各種舗装について、その長所や特性及び具体的な工法手順等最新の舗装技術について講義された。受講者にとっては、各種法令、舗装技術の現状の確認や最新技術の習得など有意義な講習会となりました。



舗装技術の向上にむけ熱心に聴講する受講者

②第146回道路美化・清掃活動

連日の雨天で中止!

10月16日(火)に、実施を予定していた第146回道路美化清掃活動は、連日の雨模様のため、気象情報、降水確率等、情報収集の結果、前日に中止を決定しました。微妙な気象予報の時には中止の判断に悩みますが、参加者する会員の移動も考慮して清掃活動が円滑に実施出来るよう判断したいと思っております。今後ともご協力をお願いします。